



アートワーク「妙義山×祭器」(祭器・掛軸一対)より
祭器(幅20×奥行20×高さ17.5)



藁灰釉 松灰釉 重ね掛け 耳付花生
(幅18.4×奥行13.1×高さ24cm)

中野純 第16回 作陶展

2018年10月24日(水)-30日(火)
松屋銀座 7階 遊びのギャラリー

中野純 作陶展

第16回

2018年10月24日(水) - 30日(火)

(最終日午後5時閉場)

松屋銀座 7階 遊びのギャラリー

- 営業時間／午前10時から午後8時まで
10月28日(日)は午後7時30分まで
- お問い合わせ／松屋銀座 7階 遊びのギャラリー
電話 03(3567)1211 大代表

2年ぶりの東京展となります。今回は櫟灰釉によるマットな風合いや、松灰釉の溜まり手、藁灰釉と松灰釉の重ね掛けなど、灰釉による多様な表現に取り組みました。食器・花器・茶器ほかを出品します。また、数年来取り組んでいる「祭器」シリーズでは「祭器×山行」アートワーク新作をお披露目いたします。みなさまお誘いあわせの上ご来場くださいますよう、ご案内申し上げます。

中野 純

[中野 純 (なかの じゅん) 略歴] <http://www.junnakano.com/>
1972年 千葉県生まれ 2000年 東京・松屋銀座にて初個展。以後、名古屋、岡山、広島、福岡、金沢、富山、仙台など各地で定期的に個展を開催。千葉県長柄町在住。蹴轆轤と天然灰釉の風合いを大切に制作している。